

|                |                  |                |              |           |
|----------------|------------------|----------------|--------------|-----------|
| <b>科目名・単位数</b> | <b>クラフト・デザイン</b> | <b>( 4 )単位</b> | <b>学習レベル</b> | <b>標準</b> |
|----------------|------------------|----------------|--------------|-----------|

| 学習目標   |   |  |  |                |
|--|---|--|--|----------------|
| ① デザインや工芸などの創造活動に主体的に取り組み、自己表現の喜びを味わう。<br>② 材料の特性を吟味しその持ち味を大切に発想し、構想する。<br>③ 作者の心情や意図、表現の工夫を感じ取り創造力の豊かさを感じ取る。  |   |  |  |                |
| 学期   | 学習内容  | 学習のねらい   | 提出物  |                |
| 前期<br>(4月～9月)  | 4月 <b>オリエンテーション</b><br>～クラフト・デザインの内容・評価について～<br><br>① <b>ペーパークラフト</b><br>～型紙で模様をつけた小箱のデザイン～<br><br>～型紙で作る・モバイル～ | ・クラフト・デザインで取り組む内容について説明し、カタログや図録、生徒作品等を鑑賞する<br><br>・紙を素材にももの作りを展開する。日常生活でも使用するカッター等を使い素材の特性を生かした小<br><br>・針金や糸で自分のデザインした型紙を吊り、バランスを保たせた屋内装飾品を作る。 | ・プリント<br><br>・ワークシート<br>・作品  | ・ワークシート<br>・作品 |
|  | 5月<br><br>～紙で作る・立体モバイル(魚)～<br><br>～紙で作る・靴～  | ・針金や糸に自分で着色し制作した魚を吊り、バランスを保たせた屋内装飾品を作る。<br><br>・様々な種類の紙や特性を使って靴を作る。靴の構造を知り計画的に製作を進める。  | ・作品<br>・ワークシート<br>・作品  | ・作品            |
|  | 6月<br><br>～紙で作る・ランプシェード～  | ・針金で作った骨組みに和紙を貼りランプシェードを作る。  | ・ワークシート<br>・作品   |                |
|  | 7月<br><br>～紙で作る・お面～   | ・粘土で型を作り、水で薄くとした糊を塗り和紙を貼り重ねてお面を制作する。   | ・ワークシート<br>・作品   |                |
|  | 9月<br><br>～紙で作る・グリーティングカード～   | ・これまで素材として使用してきた紙を自分で漉き、様々な技法などを使って感謝の気持ちを込めたグリーティングカードを制作する。  | ・プリント<br>・作品   |                |
|  | 後期<br>(10月～3月)  | 10月 <b>②ワイヤークラフト</b><br>～ワイヤーで作る・小物入れ～<br><br>～ワイヤーで作る・小物～   | ・ワイヤーを切ったり曲げる事により装飾的な小物入れをデザインし制作する。<br><br>・生活で使えるペン立てやトレーなどの小物を各自デザインしワイヤーで制作する。 | ・ワークシート<br>・作品 |
| 11月 <b>③陶芸</b><br>～土で作る・土鈴～  |   | ・陶土や成形方法について学び、テラコッタの技法で土鈴を作る。   | ・作品  |                |
| 12月 <b>④ジュエリーデザイン</b><br>～シルバーリング～   |   | ・銀粘土を使い指輪やネックレスのトップをデザインし制作する。   | ・作品  |                |
| 1月 <b>⑤木工</b><br>～木で作る・イス、ベンチ～<br><br>2月   |   | ・廃材の木材を集め加工して校内に置くベンチやイスをデザインし制作する。2～5名のグループで共同で製作をこなす。  | ・ワークシート<br>・作品   |                |
| 3月 <b>鑑賞</b><br>～クラフト・デザイン～<br><br>～作品展示会～   |   | ・授業では取り上げることのできなかった内容の作品等について、資料やメディアを通して学習する。<br><br>・完成した作品を展示し鑑賞する。   | ・レポート<br><br>・プリント   |                |
| <b>評価の観点と方法</b><br>① デザインや工芸などの創造活動に主体的に取り組み、自己表現の喜びを味わうことができる。<br>② 材料の特性を吟味しその持ち味を大切に自分らしく発想し、構想することができる。<br>③ 美術作品の造形物に思いを持ち、その持つ心づかいや意図、表現の工夫を感じ取り楽しむことができる。 |   |  |  |                |
| <b>方法</b><br>アイデアスケッチ、プリント、ワークシート、作品、授業の様子等を総合的に判断して行う。  |   |  |  |                |
| 使用教科書・副読本  | なし  |  | 実習費  | 3,000 円        |
| <b>教材・道具等</b><br>各課題に応じて   |   |  |  |                |